

HIROSE-HOSP. HIROSE-HOSP.

ひろせほすぶ
2018

広瀬病院の リハビリテーションの特徴

入院から退院後の在宅フォローまで一貫したリハビリテーション

手術前後や発症早期からのリハビリテーションだけでなく、回復期の集中的なリハビリテーション、退院後の外来フォローや通所リハビリテーション、在宅での訪問リハビリテーションなど、絶え間ないリハビリテーションを展開しています。

障害予防や競技復帰に向けたスポーツリハビリテーション

スポーツ障害・スポーツ外傷の術後リハビリテーションから、競技復帰に向けたアスレチックリハビリテーションまで展開してします。また、香川県サッカー協会に協力して高校サッカーのメディカルチェックや高校サッカー部のトレーナーとして支援をしています。

歩くだけじゃない! 手の傷害に対するハンドセラピーの実施

手首や肘・肩の骨折、上肢の靭帯損傷・腱損傷、神経麻痺などに対して、術後早期からハンドセラピーなどの作業療法を展開しています。

回復期リハビリテーションで集中的なリハビリテーション

高齢者に多い大腿骨頸部骨折や脊椎圧迫骨折などを中心に、在宅復帰に向けてチーム一丸となって支援しています。

介護保険分野も充実

退院後の在宅生活を通所リハビリテーションでフォローしています。



第44回 日本股関節学会に参加して

平成29年10月20日～21日に東京都の京王プラザホテルにて開催された第44回日本股関節学会に参加させていただきました。

股関節学会はその名の通り、股関節疾患に関係している医師だけでなく、看護師、理学療法士、作業療法士、放射線技師など多くのコメディカルが集まり、日々の治療や研究などを発表、議論しています。その中には当院でも身近な変形性股関節症や大腿骨近位部骨折をはじめ、先進的な再生医療など多種多様の発表があり、多くの刺激を受けました。また、今回の学会はポスター会場も含め12会場ありましたが、そのうちの2つの会場ではそれぞれ、コメディカルの発表が1日中開催されていました。つまり、股関節のリハビリについての研究発表が2日間にわたり続いています。発表の内容は歩行分析に関するもの、関節可動域や筋力に関するもの、QOL（生活の質）に関するものなど多岐に渡ります。特に、人工股関節置換術の術前後の研究報告が多数ありました。当院でもよくみられる疾患でも、全国の先生方の考え方はそれぞれ違っており、医学の奥深さや難しさを感じ、患者様に少しでも貢献できるように自己研鑽に励むことが重要と感じました。普段悩んでいることについて、他の施設での状況を聞き情報交換できることは、たいへん貴重な機会でした。

今回、股関節学会に参加させていただき日々、患者様に対して全力のリハビリをすることはもちろんのこと、院外の研修会や勉強会に積極的に参加し、それを伝えていくことが重要と再確認できました。

今回このような機会を与えて頂いた事に感謝し、今後活かしていけたらと思います。

理学療法士 ■ 古市 琢也

リハビリセンター プラザ

リハビリセンタープラザが開設され無事5周年を迎える事ができました。

今までリハビリを提供させていただき事が出来たのもひとえにご利用者様、ご家族様の温かいご支援、ご協力及び地域の皆様や他事業所様方のご理解のたまものと感謝いたしております。

今後は後期高齢者、要介護高齢者の増加、高齢者医療介護の需要が高まるとともに、質的改革が求められる時代が到来しています。また、高齢者を取り巻く社会環境も確実に変貌しつつあります。このように多様な変化がありますが、人と人とのつながりを大切に、ご本人様、ご家族様の“想い・願い・生き甲斐”を実現するという同じ目標に向かって力を合わせて頑張っていきますので今後ともよろしくお願い致します。

理学療法士 ■ 藤井 雄規



全国国民体育大会 サッカー競技会に帯同して



平成29年8月18日から19日にかけて高知県春野総合運動公園で行われた全国国民体育大会四国ブロック予選リーグに当院から理学療法士の植田智也と植田雄一郎がトレーナーとして帯同いたしました。

結果は少年男子の部は予選リーグで徳島に敗退し全国大会に出場できず、成年の部は予選リーグを見事に突破し愛媛県で行われる全国大会の切符を手に入れました。全国大会に出場した成年の部は初戦で強豪とされている石川県代表と対戦し善戦及ばず初戦敗退という結果となりました。

炎天下の中での試合ということもあり大会期間中は選手の体調管理やケア方法などに十分に注意し、トレーナーとしてチームが勝つために何が出来るかを考え準備をしていく必要がありました。

今回、香川県代表チームのトレーナーとして帯同したことにより得たことはたくさんあり、スポーツの現場で活躍する理学療法士像が少しずつ明確になってきました。

今後は日々の患者様とのリハビリテーションの時間を大切しリハビリテーション技術の向上に努め、来年も香川県代表チームのトレーナーとして帯同出来るように日々進歩していきたいと考えております。

理学療法士 ■ 植田雄一郎



当院の理学療法士



ブロック予選に挑むイレブン



試合前にテーピングを巻く様子



宿舎での食事

第11回 健康感謝祭



多くの皆様のご協力により、健康感謝祭も無事開催することができました。地域の皆さんと触れ合うことができ、また、病院のことを知っていただくことのできたのではないかと思います。

今回参加された方も、参加できなかった方も、次回開催時にはぜひご参加ください。今後ともよろしく願いたします。



こんなにたくさん来て下さいました！

景品もたくさんあります！



院長先生の講演



伊坂先生の講演



みなさん真剣に聞いています



結果はどうでしたか？



かわいい看護師さん？

医療法人社団研宣会

専門性を生かした

患者中心の医療と看護



広瀬病院

〒760-0079 高松市松縄町35-3 TEL : 087-867-9911(代) FAX : 087-867-9988

ホームページ <http://www.hirose-hosp.or.jp>

Email info@hirose-hosp.or.jp

発行者：医療法人社団研宣会理事長 広瀬友彦

編集：広瀬病院広報委員会

発行日：平成30年2月